執筆者紹介（掲載順）

小林純子（本学大学院博士課程後期課程在学生）
金恩愛（本学大学院博士課程前期課程在学生）
高永珍（本学大学院博士課程後期課程在学生）
三宅宏幸（本学大学院博士課程後期課程在学生）
王瑜（本学大学院博士課程後期課程在学生）
永田郁子（大津市立北大路中学校教諭）
生井真理子（本学嘱託講師）
翻刻の会（本学学部在学生と本学教授山田和人）
山本和恵（本学大学院博士課程前期課程在学生）
加藤直志（名古屋大学教育学部附属中学校・高等学校教諭）

編集後記

本号には中世文学・近世文学・近代文学、および日本語の論考、国語教育の報告、中世・近世文学の資料紹介を掲載している。説話、浄瑠璃、読本、児童文学のほか、系図など、さまざまな作品が対象として取りあげられ、研究の広がりを反映した多彩な内容となった。また執筆者は、院生・卒業生からなり、とりわけ同志社大学を離れた卒業生が日々研鑽を怠らず、投稿してくれたことは喜ばしいことである。今回は、予想以上に投稿希望者が多く、誠に嬉しいかぎりである。

本誌は、編集委員を中心として、投稿論文に対し査読を実施している。したがって、場合によっては不採用もありうるが、今後とも奮ってご投稿をお願いしたい。特に院生・卒業生には、本誌を積極的に活用していただきたいと思う。